

## 21 世紀 COE 「流動ダイナミクス国際研究教育拠点」

### 平成 19 年度 国際宇宙大学サマーセッション派遣 報告書

平成 19 年 8 月 27 日

氏 名	大木智久		
所 属	工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程後期 1 年		
指 導 教 官 名	工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授 吉田和哉		
派 遣 期 間	平成 19 年 6 月 16 日 ~ 平成 19 年 8 月 25 日		
派遣先 (施設名 / 都市名 / 国名)	北京航空航天大学 / 北京 / 中国		
派遣期間中における主な訪問先	CASC (中国航空航天集团公司)		
参 加 人 数	117 (内日本人 9 名)	参 加 国 数	26 ヶ国
参加チームプロジェクト	TP Earthquake TREMOR (Technology Resources for Earthquake Monitoring and Response)		
著名な講演者	Peter Diamandas (X prize 財団会長), 向井千秋 (日本初の女性宇宙飛行士),		
派遣期間中の協賛学会等への参加	なし		
<p>本年度の国際宇宙大学サマーセッションプログラム (ISU SSP07) は中国北京にある北京航空航天大学において行われた。</p> <p>SSP は, 宇宙に関して様々な分野を学習する講義形式の Core Lectures, 各個人がそれぞれの専門分野に分かれて個人プロジェクトに従事する Departmental Activity, そして 20 人ほどの生徒達と共に 1 つのプロジェクトを遂行する Team Project という 3 つのスタイルを同時に行う短期集中プログラムである。</p> <p>また SSP の特徴としては, 参加者が世界各国から集まり, それぞれが様々な専門知識を持っているということにある。これら参加者が 1 つの宿舎に滞在し, 交流を深めることによって, より国際的, 学際的な見聞と視野を広めることができる。</p> <p>本プログラムでは, 英語によるコミュニケーションはもちろん, 宇宙に関する幅広い知識や他国の文化について幅広い視野を身に付けることができた。特に元々不得意であった英語でコミュニケーションをしていく中で, 「人を知ること・人に知ってもらうこと」とはどういうことなのかを体感することが出来た。このプログラムに参加したことで, これからの研究や学習へのモチベーションが向上した。SSP は, 「確実に自分の人生は変わった」と思えるような素晴らしい体験であった。</p>			
			